



あたたかい医療をみんなの手で

Human

“きみつだより”

NO.77 平成26年2月1日発行
編集責任者 大崎 慎一
編集者 “HUMAN”編集委員会

玄々堂 君津病院 〒299-1144 君津市東坂田4-7-20 ☎0439-52-2366(代) URL http://www.gengendo.jp/

CKD 慢性腎臓病 治療の充実

総合腎臓病センター



総合腎臓病センターでは、昨年4月に腹膜透析が再開し、11月に当院では6例目の生体腎移植手術が行われ、今年に入り在宅血液透析療法を導入した。

慢性腎臓病(以下CKDとする)患者は年々増加しており、そのうち末期腎不全で血液透析をはじめとする、腎代替療法導入を余儀なくされる方達が多くなっているのが現状である。当センターでも現在、3施設(玄々堂君津病院・坂田クリ

ニック・玄々堂木更津クリニック)合わせて57人を超える患者さまが血液透析療法を受けている。血液透析は、週2〜3回通院して行う療法に対し、腹膜透析と在宅血液透析は、自宅でできる療法となっている。

腹膜透析・在宅血液透析は、患者さま本人が腹膜透析のバック交換や血液透析の穿刺(針刺し)を行わなければならないが、時間の自由が利き、通院の回数も少なく済むため、患者さまの生活スタイルに合わせた血液浄化療法を行うことができる。

腹膜透析・在宅血液透析が始めたことにより、初期の治療から末期腎不全治療まで、幅広くCKD治療ができるようになった。(関連記事3面)



平成25年8月5日、当院の付属保育所が移転し、「げんげんどうかがやき保育所」と新たに名付けスタートした。

子供を持つ職員が働ける職場づくりをするために、昭和49年に開所し、現在医師をはじめ看護師、薬剤師等の資格を持つ職員が利用しており、0歳から小学校入学前までの乳幼児を保育している。

職員が仕事と育児の両立ができて、働きやすい職場環境のさらなる向上を目指す。

平成25年8月5日、当院の付属保育所が移転し、「げんげんどうかがやき保育所」と新たに名付けスタートした。

皆様明けましておめでとうございます。本年もよろしくお祈り致します。本年もよろしくお祈り致します。本年もよろしくお祈り致します。



院長 永島 嘉嗣

新年のご挨拶

皆様明けましておめでとうございます。本年もよろしくお祈り致します。本年もよろしくお祈り致します。本年もよろしくお祈り致します。

昨年はおもてなしの年であり、多くの方からお祝いや励ましをいただき、人生について考えることの多い一年でした。また病院の一年を振り返ってみると、昨年は電子カルテが当院にしっかりと根付いた一年でした。

欠点もありますが、今や当院の診療にはなくてはならないものになりました。個人情報保護には十分注意

しながら今後も上手に運用していきたいと思っております。そして、当院の腎臓病センターとしての特徴が少しずつ際立ってきた一年でもありました。

一時中断となっていた腹膜透析が再開され、在宅透析も始まり、腎不全治療の選択肢が増えました。フットケア外来が始まり、一般の患者さまだけでなく、特に腎不全患者さまの大きな悩みである足の病気に対する治療が充実し、下肢の血行障害に対する治療も増えました。私自身この分野が元々の専門分野であり、研究分野であったことを考えると、運命的なものを感じます。

また腎移植も盛んに行われました。当地区の腎臓病センターとして、今後も皆様にご協力いただけるよう、引き続き努力を続けていきたいと思っております。

そして昨年は、自然災害が目立った年でもありました。当地区も例外ではなく、他の地域に比べると比較的軽かったとはいえ、医療活動に支障を来す事がありました。私も自宅近くの道路が冠水し身動きが取れなくなり、どうなる事かと思った事がありました。それでも職員一丸となって、患者さまにもいろいろご協力をいただきました。今後も自然災害はその威力を増すことはあっても衰える事はないような気がいたします。自家発電をはじめとする当院の誇る非常用設備を今後も充実させ、皆様のご期待に添えるよう、



さらに今年目標として、一般の急性期医療の充実を挙げたいと思っております。

私は当院に赴任以来、懸命に急性期医療を行ってきましたが、医療を取り巻く環境の変化とともに安易な急性期医療の提供は時に病院の医療にとって大きな問題となりました。その結果、様々な医療機関が急性期医療からしり込みをするようになりました。そのような中で、当院に対する急性期医療の要請は増え続けました。当院の診療を予約制に移行せざるを得なかったのも、これが大きな原因です。

当院は東大紛争の時、地域に良質な医療を提供することを目的に設立されたのでした。その中から当院の売りである腎不全治療も発展しました。

充実した急性期医療の提供は、やはり当院の生命線であると考えます。そのために我々は、もう一度原点に立ち返り、勇気を振りしほって良質な急性期医療を展開させたいと思っております。職員一丸となって工夫を凝らす、具合の悪い患者さまにより良い医療を提供します。日々の努力を怠らせず、職員そろって研鑽に励みます。

今年も試練の多い年になるかと思いますが、皆様の「一層のご支援と鞭撻をよろしくお祈り致します。

自衛消防 消火技術大会

11月14日、君津市民文化ホール駐車場において、君津市自衛消防消火技術大会が開催され、屋内消火栓操法の部に当院から男子(森陽介・永沼剛・河西亮佑)女子(中川良実・平山有佳里・石橋美紀)の2チームが出場した。

両チームとも日頃の訓練の成果を発揮した結果、女子チームが最優秀賞を受賞した。

健康教室 開催

第2回腎臓病教室開催

11月16日(土)と12月21日(土)の両日、新館大会議室に於て、第2回腎臓病教室が開催された。

11月16日の教室では、渡邊真紀管理栄養士が「具体的な献立、食事のアレンジについて」というテーマで、たんぱく質とエネルギー、カリウム、塩分の関係やたんぱく制限する食品の組み合わせについて講義が行った。

健康教室 開催のお知らせ

記入の上、リハビリスタッフにお渡しください。またポスターも掲示しておりますのでご確認ください。

第9回リハビリ教室

日時 平成26年2月22日(土) 14時~15時30分
場所 リハビリテーション室
テーマ 「ロコモティブシンドロームについて」

第106回糖尿病教室

日時 平成26年2月22日(土) 14時~16時
場所 新館大会議室

- 内容
- ①ロコモチェック! : あなたは大丈夫? いくつかの質問や日常動作の確認等により現在の体の状態がロコモティブシンドロームかどうかをみていきます。
 - ②ロコモレ! : ロコモティブシンドローム予防のための筋トレや運動をいくつか紹介します。
 - ③ロコモ相談会! : ロコモティブシンドロームやその他のリハビリについて、「何でも相談会」を行います。ご希望の方はリハビリ室にて申込用紙がありますので必要事項をご記入の上、外來中央カウンターへお申し込み下さい。
- 場所 新館大会議室
- 内容
- 糖尿病療養指導士の資格を持つ看護師・薬剤師・栄養士・理学療法士による講義
 - ①糖尿病という病気?
 - ②動脈硬化を防ぐ飲み薬
 - ③食物繊維は何故いいの?
 - ④運動療法の基礎
- 参加ご希望の方は、申込用紙に必要事項をご記入の上、外來中央カウンターへお申し込み下さい。

New Doctor 着任医師紹介

昨年9月に元帝京大学ちば総合医療センター神経内科教授の清水夏繪医師と、1月に元埼玉医科大学総合医療センター消化器・一般外科助教の久保田将医師が常勤医師として着任しましたので、ご紹介します。



清水 夏繪 医師

担当科…神経内科
出身校…東京大学

2013年9月1日から神経内科医としてリハビリテーション科に勤務しています。

当院の神経内科外来で月1、2回の非常勤医を15年ほど勤めていましたから、リ



久保田 将 医師

担当科…一般外科
出身校…埼玉医科大学

1月より着任しました。久保田将と申します。埼玉県から参りました。

業務が行われていることもあって、医療スタッフが患者さまの様々な情報を共有しており、「チーム医療」が有効に機能していると感じます。今後、脳血管疾患等リハビリテーションIIを満たす為に作業療法士がチームに加わることが望まれます。言語障害や嚥下(飲み込み)障害などに対応する専門的リハビリテーションも必要になるに違いありません。最近の数年は教員生活であった私にとっても、専任医としてのリハビリが必要かもしれませ

ん。1日も早くチームの正規メンバーになれるよう努力しますので、どうぞ宜しくお願い致します。

私は医師になった後、埼玉県と福島県で働いていました。震災直後から福島県で働いていたこともあり、家族や地域社会の大切さ、何気ない日常生活の大切さを再認識したため、地元である千葉県の地域医療への思いが強くなり、就職させていただいた次第です。

一人一人の患者さまのご要望に応えられるよう、丁寧に診療させていただき、地域に良質な医療をお届けするお手伝いをしたいと思っています。

患者さま・ご家族の皆様、地域の皆様、病院スタッフの皆様、どうぞよろしくお願ひ致します。

エネルギー代謝測定

みなさん、自分の一日に消費するエネルギー(*1カロリ)を知っていますか？
一日のエネルギー消費量は、基礎代謝と運動や活動で誘発されるエネルギー、そして食べることで発生するエネルギーの三つから構成されます。

基礎代謝とは、体成分の合成・分解及び体温の維持や最低限の臓器の活動を維

持するもので、年齢、筋肉量、体型、体温や室温などによって変わってきます。基礎代謝が高くなる年齢は、筋肉量と代謝活動が活発である12〜17歳で男性が約1600kcal、女性が約1400kcalです。40歳頃から筋肉量と代謝活性が減弱する時期となるため、基礎代謝は急降下し、50〜69歳男性では約1400kcal、女性は約1100kcalとなります。

基礎代謝の測定は、室内を一定の温度と湿度に保つ事や、12時間以上絶食期間を設けるなど数多くの条件が必要で、特別な施設が必要で、そのため、当院では基礎代謝に近い安静時代謝を測定します。(安静時代謝は基礎代謝の約1.2倍に相当します。)

安静時代謝を測定し、個人のエネルギー消費量の目安を知ること、より細やかな生活の管理を行うことができます。例えば、糖尿病の方は血糖コント

ロールの改善に、反対に低栄養の方には、栄養補給の必要量が予想できます。エネルギー代謝を高く保つ目的で、運動を始める方もいることでしょう。安静時エネルギー測定は、呼吸中の酸素から予測します。方法は椅子に座るかベッド上でリラクセスし、専用のマスクを掛けて10分程度呼吸をするだけです。

正しい測定を行うための注意点として
①測定4時間前は飲食を控える
②測定前は過度な運動はさける
③測定中は静かな状態を保つ等です。

この検査は保険適用で、検査を受けるには医師の指示が必要となります。お問い合わせは、栄養科までご連絡ください。
(*1)カロリ(cal)…エネルギーの単位のこと。1mlの水の温度を1℃上昇させるのに必要なエネルギーが1カロリ(cal)です。
参考文献…「今なぜエネルギー代謝か」細谷憲政編著者 第二版
「日本人の食事摂取基準 2010年」厚生労働省

運動は、無理のない範囲で行い、痛みや違和感がある場合は、すぐに運動を中止して下さい。この2つの運動以外にも、ウォーキングやストレッチ、ラジオ体操など自分に合った運動を一緒に行うとよいとされています。
リハビリテーション科では、年2回リハビリ教室を開き、ロコモ運動や転倒予防教室、腰痛教室等を行っています。興味のある方は是非参加してみてください。

「ロコモティブ・ディスオーダー」

リハビリテーション科 田代智紀

今、話題となっているロコモティブ・ディスオーダー(ロコモ)とは、日本語では運動器症候群と言われており、運動器(骨・関節・筋肉)の働きが衰え、暮らしの中の自立度が低下し、介助を要したり、寝たきりになったりなどの危険性が高い状態を言います。

では、ロコモの疑いがあるかチェックしてみましょう。

(1)片脚立ちで靴下はけないチカラを試みましょう。

(2)スクワット
ゆっくり5〜6回を1日3回
膝がつま先より出たり、膝の角度が90度を超えないように注意してください。
安全のため、椅子やソファの前で行って下さい。
手放しでスクワットが困難な場合は、机やテーブルに手をつけて行います。

(2)家の中でつまづいたり滑ったり

(3)階段を上るのに手すりが必要

(4)横断歩道を青信号で渡りきれない

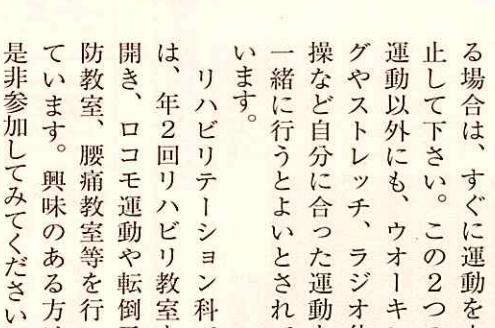
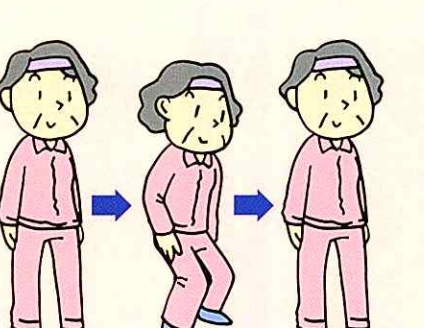
(5)15分以上続けて歩けない

(6)2kg程度の重い物をして持ち帰るのが困難

(7)家のやや重い仕事(掃除機の使用や布団の上げ下ろしなど)が困難

以上(1)〜(7)まで当てはまるのがあったでしょうか？
1つでも当てはまるとロコモである危険性があります。ロコモの予防の為にロコモーショントレーニング(ロコトレ)がありますのでご紹介いたします。

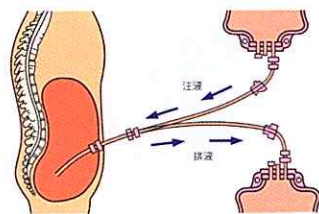
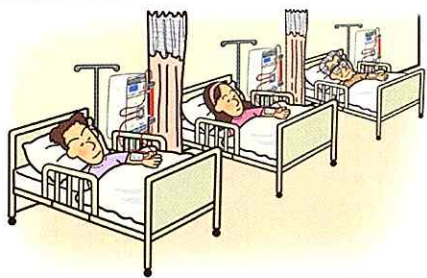
運動は、無理のない範囲で行い、痛みや違和感がある場合は、すぐに運動を中止して下さい。この2つの運動以外にも、ウォーキングやストレッチ、ラジオ体操など自分に合った運動を一緒に行うとよいとされています。



腎センター 便利

当院で行っている腎代替療法について、解説していただきました。

腎代替療法について



チームを立ち上げ、より専門性が発揮できる環境づくりを目指します。1年

今回、腹膜透析を導入するために、医師、看護師(病棟、手術室、外来、透析室、訪問)薬剤師、栄養士、臨床工学技士、医事課の15名

から治療選択できるようにになりました。腹膜透析とは、お腹の中の「腹膜」を利用して、血液中の毒素や余分な水分を取り除く方法です。お腹の中にカテーテルを入れて、「透析液」を入れたり出したりすることで血液をきれいにします。1日数回交換する方法と夜間就寝中に機械で自動的に行う方法があります。

10月27日には現在血液透析を行っている患者さまを対象に、腹膜透析の説明を致しました。患者さまが腹膜透析を希望する場合には、血液透析患者さまは透析室看護師、通院中の患者さまは外来看護師、入院中の患者さまは病棟看護師にご相談ください。これから

患者さまひとりひとりの生活や仕事に合わせた腹膜透析を設定するには、透析を行うことについての患者さまの思い、透析を行うことでの日常生活の障害、透析を継続するために起こり得る生活の変化、今後の人生設計などのお話を伺い、看護師はサポートをします。

普及の妨げとなっている要因は、自己責任で行うという前提条件から、透析に対する知識技術の習得しなければならず、その中で特に針刺し技術をマスターする必要があります。家族の理解と協力が不可欠で、介助者がいなければならぬ、こ

治療を受けている患者さまは約31万人で、そのほとんどが施設で行う血液透析でありHHDはわずか394名と少なく、千葉県内においては3施設で5名しか行われていません。

当センターのHHDの現状を説明します。昨年1月に関係スタッフによるプロジェクトチームが発足し、準備に取り組み運用体制が整ったことから、10月より1例目の患者さまを受け入れ教育訓練を開始しました。最初の患者さまは

最近、この事が患者さまに徐々に認知・浸透されてきたのと平成10年に保険適用になった事で、年々HHDを受ける患者さまは増加し、特にここ数年は伸び率が顕著になってきています。

腎代替療法について

総合腎臓病センター センター長 大崎慎一



腎臓が悪くなると腎代替療法が必要になっ

た場合に、私はその選択において大きく二つに分けて考えています。一つ目は通院を要する治療、二つ目は自宅中心の治療です。二つ目の治療は、通院の血液透析療法(HD)で週に3回、1回4時間を原則として病院に通院します。日本では90%以上の方がこの治療を行っています。それに対して自宅中心の治療が腎移植(RTx)、腹膜透析(PD)そして在宅血液透析(HHD)になります。これらの治療法は本来は患者さまの生活スタイルや生活環境、考え方で自主的に選択される必要がありますが、すべ

ての治療法を自宅の近くで自由に選べる地域は都市部以外では限られています。当院の総合腎臓病センター発足の目的は、これらの治療法を地域においてバランスよく提供する事でした。2011年から腎移植の再開、2013年から腹膜透析と在宅透析を開始する事で、私たちの目標であった「すべての腎代替療法を地域で提供する」が可能となりました。PD、HHDもまだまだ量的には多くは提供できませんが、安全を第一にご希望の患者さまには道を開いていきます。生体腎移植は「ハイボリウムセンター」の医療を地域で再現する。をテーマに、東京女子医大とタイアップして治療を行っています。また、二方で通院透析においては様々な理由で通院困難な患者さまのサポートの

腹膜透析について

看護部副部長兼血液浄化部副部長 木村純子



慢性腎臓病(CKD)の患者さまに、当院

では血液透析、腹膜透析、腎移植の腎代替療法の治療を行っています。腎臓内科外来では、腎代替療法について患者さまへわかりやすく情報を提供し、患者さまの生活やQOLに配慮して、患者さまに治療の選択をしていただいています。

4月に導入して現在では4名の患者さまが腹膜透析を行っています。腹膜透析を開始するには、カテーテルを入れるために入院が必要となります。カテーテルを入れてからは透析液の交換方法の教育を受けて、在宅で腹膜透析を行うためには、だいたい1〜2か月間のトレーニングが必要となります。入院期間は患者さまの都合に合わせて調整しています。

「総合腎臓病センター」が開設され3年が経ちました。この間のセンターの治療上の進展としては、以前に行われていた腎臓移植や腹膜透析(CAPD)が再開されたこと、及び家庭で行う在宅血液透析(HHD)を開始したことがあげられます(図1)。今回、この新たな

に取り組んでいるHHDについて述べてさせていただきます。一わが国の慢性透析療法の実況(一日本透析医学会が発行)によれば、2012/12/31現在、全国で透析治療を受けている患者さまは約31万人で、そのほとんどが施設で行う血液透析でありHHDはわずか394名と少なく、千葉県内においては3施設で5名しか行われていません。

在宅血液透析の現状

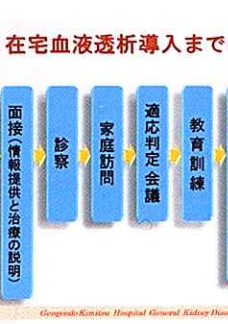
血液浄化部副部長 三浦國男



腎疾患医療に関連する機能を

「総合腎臓病センター」が開設され3年が経ちました。この間のセンターの治療上の進展としては、以前に行われていた腎臓移植や腹膜透析(CAPD)が再開されたこと、及び家庭で行う在宅血液透析(HHD)を開始したことがあげられます(図1)。今回、この新たな

となりませんが、実はこのようなデメリットをはるかにしのぐ効果がHHDにはあるのです。具体的には、施設透析でよく見られる、透析後が疲れる・合併症が多い・血圧が高い薬が多い・食事制限が厳しいなどが、HHDでは自らのライフスタイルに合った透析スケジュールが可能であるため、透析回数や時間を自由に調節し透析量を増やすことができるので、透析不足による合併症が減り内服薬も格段に少なくなる、食事や飲水制限がほとんどなくなる、通院の時間が大幅に減る(1カ月に1回程度)、時間を自由に使えるため社会復帰が可能となる等、多くのメリットがあり腎臓移植に次いで優れた治療法です。



よう動機付けをする、家庭で安全かつ適切な血液透析が実施できるようにする、体調のコントロール、異常の発見、担当者への連絡ができるようにする、生活条件を調整できるようにする、ことを到達目標に掲げ取り組んでいます。最後に、病院で透析を受けている患者さまがHHDについてよく質問されることをQ&A方式でまとめてみました。

Q…どんな人がHHDを受けられるか相談ください。
A…本人の強い希望がある、介助者がいる、家族の協力がある、大きな合併症がない、透析装置と材料を置くスペースがある、透析費用を負担できる、などが条件になります。
Q…HHDに不向きな人は?
A…決められた透析時間や回数を短くしたり減らそうと思おう、訓練を十分に受けることができない、基本的な自己管理が出来ないような人です。
Q…何かあったら不安ですが?
A…教育訓練中に透析時のトラブルについても学びます、スタッフの支援が必要なきは24時間専用の携帯電話に連絡が対対応いたします。

Q…透析装置のメンテナンスは?
A…技工が定期的にご自宅に伺い装置の点検を行います。
Q…検査や診察は?
A…月に1回程度、病院に診察を受けに来ます。その時に必要な検査や薬が処方されます。

Q…本人の強い希望がある、介助者がいる、家族の協力がある、大きな合併症がない、透析装置と材料を置くスペースがある、透析費用を負担できる、などが条件になります。
Q…HHDに不向きな人は?
A…決められた透析時間や回数を短くしたり減らそうと思おう、訓練を十分に受けることができない、基本的な自己管理が出来ないような人です。
Q…何かあったら不安ですが?
A…教育訓練中に透析時のトラブルについても学びます、スタッフの支援が必要なきは24時間専用の携帯電話に連絡が対対応いたします。

Q…検査や診察は?
A…月に1回程度、病院に診察を受けに来ます。その時に必要な検査や薬が処方されます。

防災・消防訓練実施

9月28日(土)午後、防災訓練を実施しました。大規模地震が発生したことを想定し行われた訓練では、発災時の防護訓練・避難誘導訓練・外来での救急患者の受け入れ訓練・避難用具や防火扉の取扱説明等を行いました。

12月7日(土)には、病院内で火災が発生したことを想定した消防訓練を実施しました。

どちらの訓練共に、実際に被災した現場をイメージして行われ、参加した職員は、災害時の役割・行動を確認する機会となりました。



新入職員 頑張ってます

4月に入職したフレッシュマン達。今ではそれぞれの現場で活躍中です。そんな新人さん達を代表して、4名の方に今の心境等を語っていただきました。



入職して半年以上が過ぎ、日々の業務にも慣れ充実した日々を送ることができています。入職した当初は宮崎から来たということもあり、新しい環境での生活に戸惑う事ばかりでした。しかし、病棟の先輩方が温か



看護師 福重 華保

4月に入職して、半年以上が経ち、職場の環境に慣れ自立した業務が増えましたが、先輩の目が徐々に離れていくことで、ますますナースとしての自覚を感じる反面、不安もある日々です。研修や先輩の見守りを通して初めて行うことが自立できる様になっ

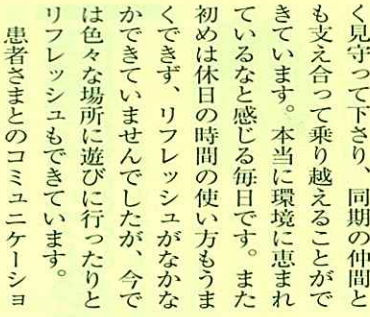
ても、見落としや周囲に目を向けることが出来なかつたり、先輩に声をかけられて気付く事もありました。わからない事や判断に迷った時は、先輩に相談し自分でも主体的に勉強し、もっと視野を広げていく事が今後の課題です。重症度の高い患者さまのお部屋の担当となつたり、夜勤業務も始まり毎日不安や緊張はありますが、ひとつひとつ丁寧に確実に、安全に業務を遂行できるように日々頑張りたいと思います。

私は、幼い頃から玄々堂君津病院にお世話になっており、いつかはこの病院に貢献できる様になれるかなと思っていました。そして、平成25年4月に臨床工学技士として入職させていただくことができました。



看護師 松田 美輪

私には、幼い頃から玄々堂君津病院にお世話になっており、いつかはこの病院に貢献できる様になれるかなと思っていました。そして、平成25年4月に臨床工学技士として入職させていただくことができました。



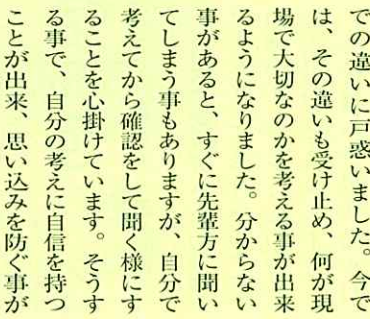
臨床工学科 小原 明士

私はこの病院に就職する前に、転職を数回経験しており、色々な施設で新人研修を受けてきました。そんな私がこの病院での新人研修で感じたことは、内容がしっかりと組まれているという事でした。それは、新人全体での研修や各科の研修で基礎的な知識が習得できるようになっており、技術面では適宜アプリエターやリーターから教育担当を決めて頂けて、指導を受けることができ、これまで行ってきた業務に関

く見守って下さり、同期の仲間とも支え合って乗り越えることができていると感じる毎日です。また初めは休日の時間の使い方もうまくできず、リフレッシュがなかなかできていませんでしたが、今では色々な場所に遊びに行ったりとリフレッシュもできています。

患者さまとのコミュニケーションにおいても楽しくさせていたいただき「ありがとう」の言葉にとっても元気づけられます。これからも看護師としての誇りを持って、一人前の看護師となれるよう初心を忘れず、日々精進していきたいです。

入職して半年以上経ちました。最初は学校の授業で臨床検査について習った事と、実際の現場での違いに戸惑いました。今では、その違いを受け止め、何が現場で大切なかを考える事が出来るようになりました。分からない事があると、すぐに先輩方に聞いてしまう事もありますが、自分で考えてから確認をして聞く様にすることを心がけています。そうすることで、自分の考えに自信を持つことが出来、思い込みを防ぐ事が出来るようになってきました。



臨床検査科 菅 聖

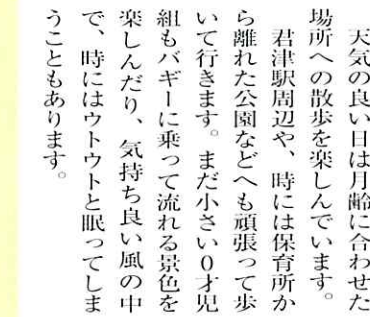
入職して半年以上経ちました。最初は学校の授業で臨床検査について習った事と、実際の現場での違いに戸惑いました。今では、その違いを受け止め、何が現場で大切なかを考える事が出来るようになりました。分からない事があると、すぐに先輩方に聞いてしまう事もありますが、自分で考えてから確認をして聞く様にすることを心がけています。そうすることで、自分の考えに自信を持つことが出来、思い込みを防ぐ事が出来るようになってきました。

入職して半年以上経ちました。最初は学校の授業で臨床検査について習った事と、実際の現場での違いに戸惑いました。今では、その違いを受け止め、何が現場で大切なかを考える事が出来るようになりました。分からない事があると、すぐに先輩方に聞いてしまう事もありますが、自分で考えてから確認をして聞く様にすることを心がけています。そうすることで、自分の考えに自信を持つことが出来、思い込みを防ぐ事が出来るようになってきました。

入職して半年以上経ちました。最初は学校の授業で臨床検査について習った事と、実際の現場での違いに戸惑いました。今では、その違いを受け止め、何が現場で大切なかを考える事が出来るようになりました。分からない事があると、すぐに先輩方に聞いてしまう事もありますが、自分で考えてから確認をして聞く様にすることを心がけています。そうすることで、自分の考えに自信を持つことが出来、思い込みを防ぐ事が出来るようになってきました。

入職して半年以上経ちました。最初は学校の授業で臨床検査について習った事と、実際の現場での違いに戸惑いました。今では、その違いを受け止め、何が現場で大切なかを考える事が出来るようになりました。分からない事があると、すぐに先輩方に聞いてしまう事もありますが、自分で考えてから確認をして聞く様にすることを心がけています。そうすることで、自分の考えに自信を持つことが出来、思い込みを防ぐ事が出来るようになってきました。

入職して半年以上経ちました。最初は学校の授業で臨床検査について習った事と、実際の現場での違いに戸惑いました。今では、その違いを受け止め、何が現場で大切なかを考える事が出来るようになりました。分からない事があると、すぐに先輩方に聞いてしまう事もありますが、自分で考えてから確認をして聞く様にすることを心がけています。そうすることで、自分の考えに自信を持つことが出来、思い込みを防ぐ事が出来るようになってきました。



臨床検査科 菅 聖

入職して半年以上経ちました。最初は学校の授業で臨床検査について習った事と、実際の現場での違いに戸惑いました。今では、その違いを受け止め、何が現場で大切なかを考える事が出来るようになりました。分からない事があると、すぐに先輩方に聞いてしまう事もありますが、自分で考えてから確認をして聞く様にすることを心がけています。そうすることで、自分の考えに自信を持つことが出来、思い込みを防ぐ事が出来るようになってきました。

入職して半年以上経ちました。最初は学校の授業で臨床検査について習った事と、実際の現場での違いに戸惑いました。今では、その違いを受け止め、何が現場で大切なかを考える事が出来るようになりました。分からない事があると、すぐに先輩方に聞いてしまう事もありますが、自分で考えてから確認をして聞く様にすることを心がけています。そうすることで、自分の考えに自信を持つことが出来、思い込みを防ぐ事が出来るようになってきました。

入職して半年以上経ちました。最初は学校の授業で臨床検査について習った事と、実際の現場での違いに戸惑いました。今では、その違いを受け止め、何が現場で大切なかを考える事が出来るようになりました。分からない事があると、すぐに先輩方に聞いてしまう事もありますが、自分で考えてから確認をして聞く様にすることを心がけています。そうすることで、自分の考えに自信を持つことが出来、思い込みを防ぐ事が出来るようになってきました。

入職して半年以上経ちました。最初は学校の授業で臨床検査について習った事と、実際の現場での違いに戸惑いました。今では、その違いを受け止め、何が現場で大切なかを考える事が出来るようになりました。分からない事があると、すぐに先輩方に聞いてしまう事もありますが、自分で考えてから確認をして聞く様にすることを心がけています。そうすることで、自分の考えに自信を持つことが出来、思い込みを防ぐ事が出来るようになってきました。

診察予約専用番号

当院では予約制で診察を行っております。当日に受診希望の方も診察の予約が必要です。診察をご希望の際は事前に「予約専用番号」までご連絡ください。予約変更もこちらで受け付けております。

受付時間：午前9時～午後4時
※月曜日～土曜日
(日曜、祝日は除く)

予約専用番号
0439-52-7068

※時間帯により混雑の為、大変繋がりにくい場合がございます。
※受付時間外の対応は致しかねますのでご了承ください。
※救急・急患の場合は代表番号にご連絡ください。
代表番号 0439-52-2366

保育所だより

8月より新しい保育所に引っ越し、「げんげんどうかがやき保育所」の名称で新たなスタートを切りました。現在、約30人前後の子ども達が毎日利用しています。天気の良い日は月齢に合わせた場所への散歩を楽しんでいます。君津駅周辺や、時には保育所から離れた公園などへも頑張つて歩いていきます。まだ小さい0才児組もバギーに乗って流れる景色を楽しんだり、気持ちの良い風の中で、時にはウトウトと眠ってしまうこともあります。

雨の日は、室内で窓の外を見たりは少し残念そうにしている姿も見られますが、じつくりと玩具で遊んだり、滑り台を滑べったり、音楽を流してのリズム遊びなど、室内ならではの遊びを楽しんでいます。夕方になると、幼稚園に行っていた3才以上の子供達も帰って来ます。おやつを食べると、それぞれに玩具や折り紙、お絵描きなどに遊びます。

日々成長していく子供達を見ながら、私達スタッフもそのパワーに負けないように毎日頑張っています。

10月29日ホテルアウイナ大阪で行われた「特定非営利法人 日本病院ボランティア協会」の総会にて、鈴木アツ子さんがボランティア活動1000時間達成の表彰を受けました。当日は、北海道から九州まで全国80

ボランティア活動 1000時間達成 表彰



言に尽きます。そしてクリスマス会をずつと見守ってくれたのは、君津市のマスコットキャラクター「きみぴよん」。今年のゆるキャラランプリでは千葉県内堂々の2位という人気者は、ダンスも上手でした。今回も準備や進行とボランティアさんの協力のもと、楽しい時間を過ごすことができました。

クリスマス会を行いました。12月21日、外来ホールにて病院クリスマス会を行いました。始まりは「きみつ童謡唱歌を楽しむ会」の皆さんによる合唱。定番のきよしこの夜にとまらず、懐かしい曲を聴いて会場の患者さんと一緒に歌ってくださいました。続いて当院薬局の精鋭9名がハンドベルの演奏とAKB48の曲に合わせたダンスを披露してくれました。メンバーは毎日、業務終了後に「生懸命ハンドベルの練習に励んでいました。その成果が実り本番では澄んだベルの音色が外気に響き渡りました。最後に病院保育所の子供たちが歌や踊りを披露すると、患者さまも自然とニコニコ笑顔で応援してくれました。何をやるでも可愛い！

10月29日ホテルアウイナ大阪で行われた「特定非営利法人 日本病院ボランティア協会」の総会にて、鈴木アツ子さんがボランティア活動1000時間達成の表彰を受けました。当日は、北海道から九州まで全国80

ボランティア活動 1000時間達成 表彰



燃やしたい 灯油のかわりに 体★★ (青林橋)

編集後記

- ダイエット、年を越したら台無しに... (PT)
- 今年こそ!と毎年意気込んで途中で失速...今年最後まで駆け抜け... (せつとん)
- うま 今年も美味しい話...鼻をクンクンして頑張る! (わあい)
- 健康第一!心も体も元気に1年間頑張ります。 (LDH)
- 平凡な毎日、あたりまえの空気や水を大切にしましょう。 (Shin)
- 年々増加傾向の体重...何とかしてえ! (瘦せたgirl☆)
- 今年こそ、ダイエットを...瘦せます!6月までに! (Ω)
- 今年も一年頑張ります (てつ)

クリスマス会を行いました。12月21日、外来ホールにて病院クリスマス会を行いました。始まりは「きみつ童謡唱歌を楽しむ会」の皆さんによる合唱。定番のきよしこの夜にとまらず、懐かしい曲を聴いて会場の患者さんと一緒に歌ってくださいました。続いて当院薬局の精鋭9名がハンドベルの演奏とAKB48の曲に合わせたダンスを披露してくれました。メンバーは毎日、業務終了後に「生懸命ハンドベルの練習に励んでいました。その成果が実り本番では澄んだベルの音色が外気に響き渡りました。最後に病院保育所の子供たちが歌や踊りを披露すると、患者さまも自然とニコニコ笑顔で応援してくれました。何をやるでも可愛い!

クリスマス会を行いました

